

利賀っ子だより



R3. 9. 6

○ 中学生から学ぶ



中学生の代表と小学生の代表が集まり、「金剛祭」のテーマについて話し合いをしていました。

話し合いの場に臨むまでの準備、話し合いの進め方はもちろん、話し合う観点など、小学生にとっては、学ぶことがたくさんある場でした。

こんな場で学んだ代表の子供たちが、小学校の中心となって活動するときそれを発揮していく、下級生はそれを見て学ぶ。

こんなすばらしいサイクルができています。

利賀の環境は、自慢できることだと思いました。

○ 「学びの時間」開始

2学期の「学びの時間」が始まりました。1学期は、5時間目の授業の前の時間帯に設定していましたが、子供たちのアンケートや教員の振り返りの結果を基に、朝の時間帯に変更しました。そうすることで、登校後すぐに、自分のしたいことにたっぷり時間を使うことも可能になりました。

活動時間の変更を知らせた翌日、予定の時間前から一人で黙々と調べ活動をしている子供がいました。その姿を見て、誘われるように2人、3人と「学びの時間」の活動を始めていました。

夏休みに興味をもったことについて続けて調べる子供、1学期に調べたことを基に次の興味あることを調べていこうと考えている子供、何を調べていこうか思案中の子供など様々です。

子供が主体的に課題を見付け、追究する姿を目指して支援を続けていきます。



(高田 公美)